

浄化槽設置工事写真の留意点

浄化槽設置整備事業費補助金実績報告書に添付する「浄化槽設置状況の現場写真」については、栃木県浄化槽協会が発行する「工事写真例」のほか、下記についてご留意ください。

1. 浄化槽整備士が実地に監督していることを証する写真

- ①当該浄化槽の設置場所で、浄化槽整備士が実地に作業に当たっていることが確認できる写真であること。
- ②浄化槽整備士が正面を向いて、建設省令で定められた浄化槽工事事業者届出票を掲げ、背景に工事を行う場所の周辺状況とともに写っていること。（標識版の記載事項が判読できること。）

2. 基礎工事の状況を示す写真

- ①不等沈下防止のための基礎工事を行ったことが確認できる写真であること。
- ②栗石地業及びすてコンクリート打ちがなされていることが確認できること。

3. 据付工事の状況を示す写真

- ①水張りを行い、本体の水平を確認しつつ埋め戻しの作業を行っていることが確認できる写真で、次の道具等が写っていること。
 - ア. 本体の水平を確認するための水準器（これに代えて、水準目安線や越流せき、流入、放流、移流管等の状況を浄化槽整備士等が確認していることを写した別の写真でも可）
 - イ. 埋め戻しの高さを示すスケール
 - ウ. 水張り及び水じめに用いるホース
 - エ. つき固め用の器具（つき棒、ランマー等）及び埋め戻しに用いている土砂（本体を傷つけるおそれのある石などが入っていない土砂）

4. かさ上げの状況を示す写真

- ①マンホール蓋の高さからバルブ等の操作が可能であるかが確認できる写真。
- ②蓋を開けてバルブの上端からマンホール蓋までの距離が分かるようにスケールをあてた写真。

5. 施工日の記載

各工程を施工する際の写真には、黒板等に施工日を書き入れ撮影すること。